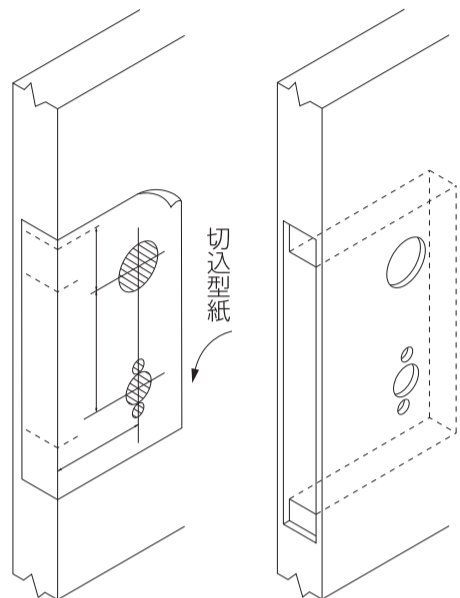


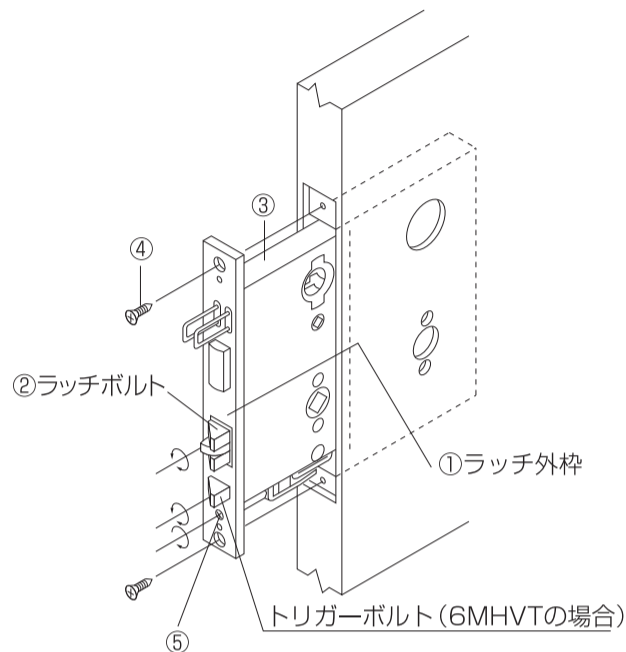
1 取付穴をあける

裏面の切込型紙に従って、錠本体の彫込み及び取付穴をあけてください。



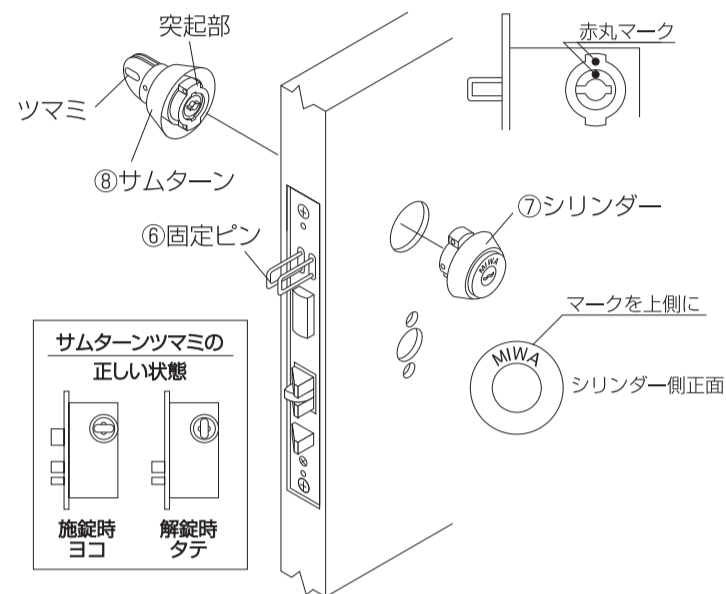
2 ケースの取付け

- 1) 扉の開閉方向に合せ、ラッチ外枠①を引出しラッチボルト②の向きを定めてください。(6MHVTの場合はトリガーボルトの向きも定めてください。)
- 2) ケース③を取付ネジ④にて、ゆるく締めてください。(この時デッドボルトは引込めておいてください。)
- 3) ケース前面の振れ止めネジ⑤を右方向に回してケースの振れを止めてください。
- 4) その後取付ネジ④を強く締めてください。



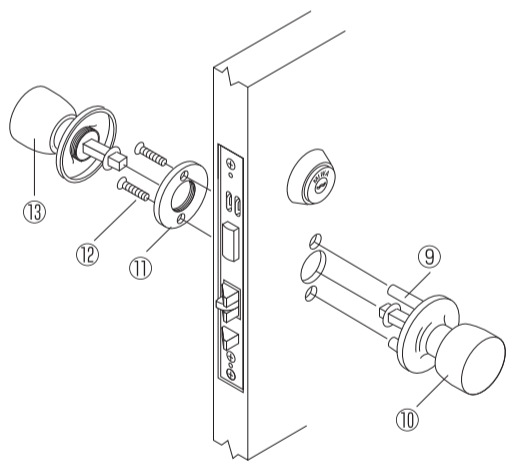
3 シリンダー、サムターンの取付け

- 1) 固定ピン⑥を引き出してください。
- 2) 下図のように赤丸どうしを合わせシリンダー⑦はMIWAマークを上向きにし、ケース穴に合せ押えながら固定ピン⑥を押し込み取付けてください。
- 3) サムターン⑧は突起部とツマミを垂直にしてケース穴に合せ、押えながら固定ピン⑥を押し込み取付けてください。
- 4) 固定ピン⑥は面一になるまで打込んでください。



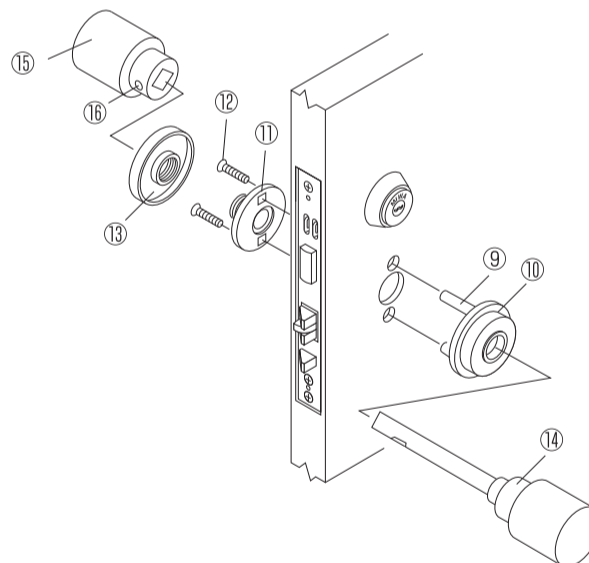
4 ノブの取付け

- 1) 扉外側より取付柱⑨のあるノブ⑩をケース穴に合わせて挿入してください。
- 2) 扉内側より固定リング⑪を取付ネジ⑫にて取付けてください。
- 3) 内側のノブ⑬を挿入し右方向にネジ込んで取付けてください。



K型ノブの場合

- 1) 取付柱⑨のある丸座⑩を扉外側より挿入し、扉内側より丸座⑪を取付ネジ⑫にて取付けてください。次にノブ座⑬をそれにネジ込んでください。
- 2) シリンダー側より角軸付ノブ⑭を差込み、サムターン側よりもう一方のノブ⑮を締付ネジ⑯にて取付けてください。

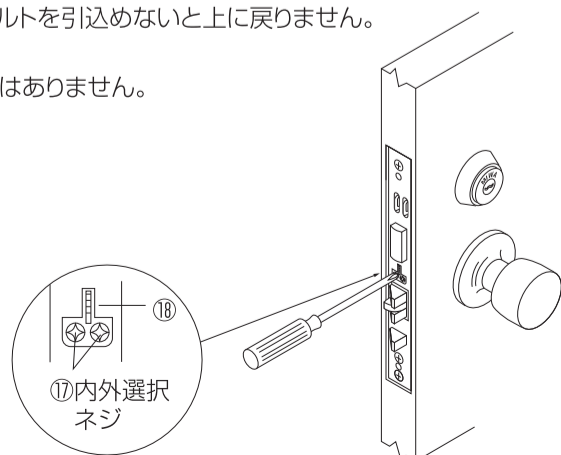


5 室内室外の選択(6MHVTの場合)

- 1) 6MHVTの場合は、フロントの切替レバー⑩を下に倒すと自動施錠になり、室外側のハンドルが空転となり、室内側のハンドルはいつでもラッチを作用できる状態が正常な形です。
- 2) そのためには、室内側に位置した内外選択ネジ⑪をドライバーでゆるめて抜いてください。

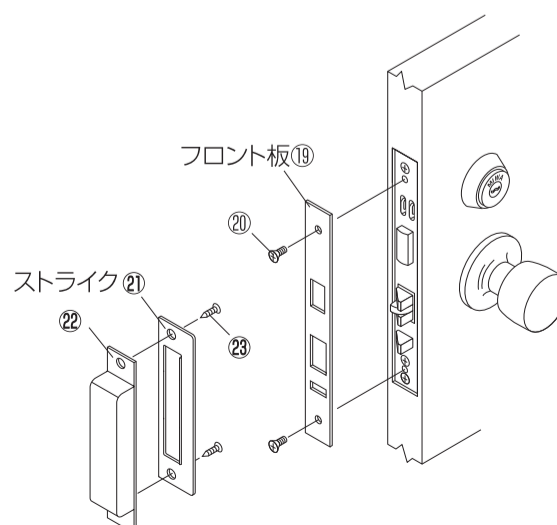
注)) 切替レバー⑩は、ラッチボルトを引込めないと上に戻りません。

注)) 6MHVT-AIにはこの機構はありません。



6 フロント板、ストライクの取付

- 1) フロント板⑫を取付ネジ⑬にて取付けてください。
- 2) 最後にストライク⑭及びトロヨケ⑮をラッチボルト及びデッドボルトに合せて取付ネジ⑯にて取付けてください。



6MHV型切込み型紙

